

親方は、橋梁工事専門FY工業(岡山県倉敷)の社長。ピー・エスの仕事を鳥取市でしていた。

平穩生活権侵害 土方の親方が自転車を盗む

自転車泥棒の真犯人は 妖怪-人権行政

鳥取市在住 A 公権力行政が、地元大企業の、(A 関連) 人権問題の隠蔽を図っている。
クルマ社会で、A が自転車通勤して非常に目立つのを、権力側は「隠蔽が失敗する！」と不快感あらわ。

イタズラ好きの親方が、話を面白くしようと A の自転車を盗む



A は、リコー鳥取工場にバイト工員で行った。そして第 4 3 回富士登山競走出場のため辞めた。その後海外放浪から帰国。次の海外放浪資金稼ぎのため、“鳥取市の城主”と称されていた大企業鳥取三洋電機（パナソニックに吸収）でバイト作業員をしていた。するとリコー社員が A の事をなんやカンヤ言っていたそうでパワハラで退職。世間的表現では「クビ」。些細な人権侵犯事件。人権侵犯事件が会社の首脳部バレたようで、大企業はもみ消し。職安で、失業保険手続きの時、大企業ベコベコの奥村次長が A に口止め <http://greenvx.jp/kuti.pdf> をしたのを皮切りに、労働機関、人権機関、人権擁護委員連合会、警察など公権力が組織的にもみ消し、隠蔽。

“日本一の人権先進県”を誇る、行政が、違法な公権力を行使して 「もみ消し！ 隠蔽！」の号令で、A の平穩生活権を侵害。

三洋をクビ同然後に 3 ヶ月間のアフリカ旅行。日本に帰国し、A は失業保険をもらいながら、道路の線引き会社にバイトに行った。以前と同じく自転車通勤。この当時郊外方面に自転車する者は滅多にせず、非常に目立った。自宅からバイト先まで 4 キロ。すれ違う自転車は皆無。バイト先の社員が懇願するように車を買うよう勧めたり、元三洋社員のガードマンが困った顔で「車買わんといけんなー」と言った。バイトを辞め、3 ヶ月間の中国旅行。

その後、橋梁工事専門の土建屋に勤めた。この通勤路も、通勤時間帯の自転車通勤者は A 一人。土方仲間は「車を買ったほうがいいぞ」と、なんとか A の目立つ自転車通勤を止めさせようとする。ある日土建屋の前に置いていた自転車がなくなった。親方が「日給千円あげてやる。車買おう！ アハハハ」と身体をくの字に曲げてまで笑いころげているし、妙に親切にしてくれる・・・親方が自転車を盗んだようだが、その代わりに 1 か月の給料を 2 万円以上あげてくれたので、新しいママチャリを買い、あいかわらず自転車通勤。

◆ 海外長期ブラブラが好きで、維持費のかかる車は買えない。

しばらくして防犯登録のおかげでママチャリが出てきた。親方を驚かそうと古いママチャリで通勤した。



親方はママチャリをビックリした表情で見つめた。

そして「わしの車で現場まで送ってやる。偉い人は前に乗るものだ。後ろに乗れ」とマナーとは逆のことを言い、

親方はAに敬意を表し、高級車クラウンの後部座席にAを乗せ、現場まで送迎する日が数日続いた。



クルマ社会鳥取市で、Aは(ある大通り)を、一人だけ自転車通勤し非常に目立っていた。権力側が、Aの目立つ自転車通勤に「大企業の人権問題隠蔽が失敗する」と眉をひそめているのを、イタズラ好きの土方の親方が知った。そして話を面白くしようとAの自転車を盗んだ。そして自転車を取り戻したため、親方は「こいつは凄い」と敬意を表し、Aを高級車クラウンの後部座席(上座)に乗せ建設現場まで送迎した。

&&& 土建屋を辞め、3カ月間の海外旅行。

在職中に事情を聞きにくかったので辞めた後に電話をかけ、親方に「リコーの事知りませんか？」と聞くと「知らん！ 知らん！」と相当動揺していた。また「僕の自転車を盗んだでしょう？」と聞くと「ハハハ」と豪快に笑っていた。

その後鳥取市でも自転車通勤者が増え、イタズラ好きの親方が「自転車通勤は目立つ！」と話を面白くしようと、自転車を盗んだエピソードは理解されにくい。

隠蔽を図っているのは、リコーと“鳥取市の城主”と称される三洋電機(パナソニックに吸収)

というより**妖怪-人権行政** **自転車泥棒など平穩生活権侵害**

の真犯人は、人権問題を隠蔽せんとする人権行政。

西尾前鳥取県知事がテレビ出演は「日本一小さな県は、日本一の人権先進県」が口癖。
片山県政時代は日本初の人権救済条例を可決し、日本一の人権先進県を内外に誇示。

そのため行政は“日本一の人権先進県に、人権侵害は、あってはならぬ”の教条主義に陥り、労働機関職安が、Aに口封じしたのに始まり、労働基準監督署、法務局、人権擁護委員連合会が「大企業様の人権問題 もみ消し！」の号令の下、もみ消し・隠蔽工作を展開。行政の共同不法行為(民719条)であり、組織的な悪事。

半グレ組織と連帯し、玄派な先生方を

「なにもみ消し、隠蔽じとるんや？ 吊じ上げ食らいたくなければ

カネ出さんかい！」と脅す策じかないようだ。

大企業ペコペコの行政に、人権侵害のないまち作りのプロパガンダがあいまつて、人権問題もみ消し・隠蔽の狂気を誘発！

鳥取市内の大型店で「暴力団組長が、銀色ズボンに派手な服着て、フィリピン人女連れ歩いているな」と思ったら自転車を盗んだ親方だった。京都の建設会社の慰安旅行で、集合場所京都駅に行くと、サングラスをかけブレザーを着た暴力団員がたむろしていてビビったが、すぐに同僚達とわかった。また以前に勤めていた鳥取市の建設会社の社長は、地元民ならご存知のように小指がない。